

第2回 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修 2019年度 報告

1 実施目的

人工呼吸器を装着している障害児や日常生活において経管栄養やたんの吸引等の医療的ケアが必要な障害児（以下、「医療的ケア児」という。）の支援を総合調整する医療的ケア児コーディネーターを養成し、医療的ケア児が地域で安心して暮らしていくことができる体制を整備することを目的とする。

2 実施主体

東京都福祉保健局 委託先：東京都立小児総合医療センター

3 受講対象者

相談支援専門員、保健師等、今後、地域において医療的ケア児の支援を総合調整するコーディネーターの役割を担う予定のある者で都内事業所、都内自治体に所属する者

4 実施日時

区分		日程	時間
講義		令和元年10月27日（日曜日）	9時00分～17時45分
		令和元年10月28日（月曜日）	9時00分～18時00分
演習 （※）	1回目	令和元年12月22日（日曜日）	9時00分～17時45分
		令和元年12月23日（月曜日）	9時00分～17時30分
	2回目	令和2年 1月12日（日曜日）	9時00分～17時45分
		令和2年 1月13日（祝日）	9時00分～17時30分

※講義 100名 演習は各回 50名ずつ参加で実施

5 その他

- ① 演習内容について：今年度は「アセスメント」を更に重要視した内容に変更
サービスをあてはめるのではなく、「なぜそのサービスが必要なのか」を考えることに、
最大限時間を割いて実施
- ② 当院主催でフォローアップ研修を年4回実施（自由参加） 東京都のみ
- ③ 前年度研修受講者の約1/3と連絡がつかなかったという状況有り
- ④ 東京都福祉保健局 HP「医療的ケア児コーディネーター研修修了者所属事業所一覧」
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shougai/nichijo/s_shien/shien.files/30meibo.pdf

令和元年度 東京都 医療的ケア児コーディネーター養成研修プログラム（講義）

日程	時間	研修内容	講師		
10/27 (日)	9:00-9:15	15分	○挨拶 ○研修オリエンテーション		
	9:15-10:15	60分	○総論 ・医療的ケア児の地域生活を支えるために ・医療的ケア児コーディネーターに求められる資質と役割	富田 直 (小児総合医療センター在宅診療科)	
	10:15-10:25	10分	休憩		
	10:25-11:25	60分	○医療 ・障害のある子どもたちの成長と発達の特徴	富田 直 (小児総合医療センター在宅診療科)	
	11:25-11:55	30分	○ライフステージにおける支援 ・NICUとPICUからの在宅移行支援		
	11:55-12:55	60分	昼食		
	12:55-13:55	60分	○医療 ・疾患の特徴 ・生理 ・日常生活における支援 ・救急時の対応	富田 直 (小児総合医療センター在宅診療科)	
	13:55-14:25	30分		・医療的ケア児の歯科診療 小方 清和 (小児総合医療センター小児歯科)	
	14:25-14:35	10分	休憩		
	14:35-15:05	30分	○医療 ・訪問看護の仕組み ・東京都在宅重症心身障害児(者)等訪問事業	松島 文江 (小児総合医療センター看護部)	
	15:05-15:35	30分		小川 一枝 (西部訪問看護事業部)	
	15:35-16:35	60分	○本人・家族の思いの理解 ・意思決定支援 ・ニーズアセスメント ・ニーズ把握事例	間宮 規子 (小児総合医療センター心理・福祉科)	
	16:35-16:45	10分	休憩		
	16:45-17:15	30分	○本人・家族の思いの理解 ・緩和医療を必要とする児の場合 ・本人・家族の思い	瀬戸 真由里 (小児総合医療センター看護部)	
17:15-17:45	30分	三木 英子 (わかこま相談支援室)			
10/28 (月)	9:00-10:30	90分	○福祉 ・支援の基本的枠組み ・福祉の制度 ・家族支援	松野 彩子 (相談支援センターしまだ)	
	10:30-10:40	10分		休憩	
	10:40-11:10	30分		○福祉 ・遊び・保育 ・虐待	坂本 真由美 (小児総合医療センター育成科)
	11:10-11:40	30分	間宮 規子 (小児総合医療センター心理・福祉科)		
	11:40-12:40	60分	昼食		
	12:40-14:10	90分	○ライフステージにおける支援 ・各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ・児童期における支援 ・学齢期における支援 ・成人期における支援 ・医療的ケアの必要性が高い子供への支援	等々力 寿純 (重症心身障害児療育相談センター)	
	14:10-14:20	10分	休憩		
	14:20-15:20	60分	○支援体制整備 ・支援チーム作りと支援体制整備/支援チームを育てる ・支援体制整備事例 ・医療、福祉、教育の連携 ・地域の資源開拓・創出方法	梶原 厚子 (株式会社スペースなる)	
	15:20-15:50	30分		・自治体との連携 石丸 明子 (新宿区基幹相談支援センター)	
	15:50-16:00	10分	休憩		
16:00-17:30	90分	○計画作成のポイント ・演習に向けた計画作成のポイント ・演習に向けた症例提示	岩崎 京子 (相談支援センターみずき)		
17:30-18:00	30分		富田 直 (小児総合医療センター在宅診療科)		